

第4号様式（第9条関係）

令和8年 4月 7日

日進市議会議長 宛て

議員名 白井 えり子

令和7年度政務活動費収支報告について

日進市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項に基づき、別紙のとおり
令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

議員名 白井 えり子

1 収 入
政務活動費 150,000 円

2 支 出 195,153 円

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	8,196	豊田市、袋井市調査
研 修 費	146,490	第87回全国都市問題会議 第30回清溪セミナー 第44回高齢社会をよくする女性の会 全国大会 清溪セミナー木更津視察 都市計画学習会（2回分） 自治体議員予算学習会 第50回地方×国政策研究会
広 報 費	0	
広 聴 費	4,331	会派議会報告会&懇談会 （4回分）
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	36,136	月刊ガバナンス 「大都市近郊の農村地域での暮らし の持続のための基礎調査」 国保新聞 「女たちが語る阪神・淡路大震災」 他2冊 「介護保険サービス実態報告書」 しんぶん赤旗日曜版
合 計	195,153	

3 残 額 -45,153 円

政務活動事業実績報告書

議員氏名 白井えり子

令和7年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

年月日	事業名	事業概要及び成果等
(調査研究費) R7年5月20日 R7年9月30日	愛知県豊田市視察 静岡県袋井市視察	別紙「調査視察地等の報告書」のとおり 別紙「調査視察地等の報告書」のとおり
(研修費) R7年4月14日 R7年7月21日 R7年10月8日～ 10月10日 R7年10月22日～ 10月23日 R7年10月27日～ 10月28日 R8年1月26日～ 1月27日 R8年1月29日 R8年2月11日	令和7年度第1回市町村議 会議員都市計画 学習会 令和7年度第2回市町村議 会議員都市計画 学習会 第87回全国都市問題会議 第30回清溪セミナー 第44回高齢社会をよくす る女性の会全国大会 清溪セミナー木更津市視 察研修 第50回地方×国政策研究会 自治体議員予算学習会	別紙「調査視察地等の報告書」のとおり 別紙「調査視察地等の報告書」のとおり 別紙「調査視察地等の報告書」のとおり 別紙「調査視察地等の報告書」のとおり 別紙「調査視察地等の報告書」のとおり 別紙「調査視察地等の報告書」のとおり 別紙「調査視察地等の報告書」のとおり 別紙「調査視察地等の報告書」のとおり
(広聴費) R7年6月29日	会派議会報告会&市民と の懇談会	1 会場 市民会館大会議室 2 参加者 15名 3 概要 オンライン参加者も含め活発な 議会報告、意見交換が行われた。
R7年9月20日	会派議会報告会&市民と の懇談会	1 会場 市民会館大会議室 2 参加者 14名 3 概要 オンライン参加者も含め活発な 議会報告、意見交換が行われた。
R7年12月6日	会派議会報告会&市民と の懇談会	1 会場 市民会館大会議室 2 参加者 12名 3 概要 オンライン参加5名を含め活発な 報告、意見交換が行われた。

R8年3月20日	会派議会報告会&市民との懇談会	1 会場 市民会館大会議室 2 参加者 13名 3 概要 学生も含め活発な議会報告意見交換が行われた。
(資料購入費) R7年4月～ R8年3月	「月刊ガバナンス」年間購読料	●領収書番号②「月刊ガバナンス」年間購読料12冊分（R7年4月号～令和8年3月号） 毎月ガバナンスを定期購入している。毎月全国の先進的な施策の紹介、防災や災害対策などの特集など、首長、職員、議会など様々な視点からの情報を知ることができ大変有意義であり参考になることが多い。
R7年4月～ R8年3月	「国保新聞」年間購読料	●領収書番号⑤国保新聞年間購読料 国保関係について、厚労省、国保中央会、国保連合会、検討会の最新の状況が詳しくわかり大変参考になる。
R7年4月～ R 8年3月	「しんぶん赤旗」日曜版購読料	●領収書番号⑥しんぶん赤旗日曜版2025年4月～2026年3月分 一般紙とは異なり政党の施策等が分かり、比較検討したりすることで参考になる。
R7年4月14日	資料報告書購入 「大都市近郊の農村地域での暮らしの持続のための基礎調査」 3冊	●領収書番号④大都市近郊の農村地域での暮らしの持続のための基礎調査報告書 県下愛西市の空家対策の調査を中心にデータによる分析がされており、本市にも参考になることが多くあった。
R7年8月7日	「被災地における性暴力」 「女たちが語る阪神・淡路大震災」 「災害と女性」	●領収書番号⑧書籍3冊 ・被災地における性暴力～防止と対応のためのマニュアル～ ・女たちが語る阪神・淡路大震災 1995～2024

R7年10月28日	「介護保険サービス実態 報告書」	・災害と女性～防災・復興に女性の参画を～ 30年前の阪神淡路の災害の時から活動しているウイメンズネット・こうべの正井礼子さんを中心に災害時に女性の視点がいかに大事かを訴え続けている。特に日本の避難所の雑魚寝状態で何か月も暮らすことが性被害を生んでおり、世界基準のスフィア基準を取り入れる必要性を強く訴えている。これまでの30年にわたる調査研究に基づく非常に貴重な資料書籍である。 ●領収書番号⑱介護サービスの実態報告書 介護保険が導入される時にも高齢社会をよくする女性の会は現場の調査に基づいた提言書を提出しているが、25年たって制度疲労の中で、総合事業のヘルパー不足の実態調査を行い報告書にまとめ、国に警鐘を鳴らしている。 この実態調査を重く受け止め今後の施策に生かすヒントが詰まっている。
------------------	-----------------------------	---

調査視察地等の報告書

令和 7 年 5 月 3 0 日

日進市議会議長 様

議 員 名 白井 えり子

実施年月日

5 月 2 0 日から
1 日間
5 月 2 0 日まで

行き先

豊田市役所

目 的

よりそい支援課及び建築相談課

重層的支援体制推進事業と居住支援事業の進め方の現状、課題等を調査

報告事項

◆豊田市 「重層的支援体制推進事業と居住支援事業の進め方」よりそい支援課

豊田市は人口 41 万人、面積は 918 平方キロメートル、都市部と山間部による市域が広く、28 中学校区で地域事情がそれぞれ異なり、急激に高齢化する人口構造の中で、地域、企業、行政による共働が必要になっている。こうした中、第 8 次総合計画に盛り込む課題は 8050 など複合課題を抱える世帯の増加がある。これを解決するため地域の支え合いの展開支援、介護、福祉、医療分野の専門職の人材不足、対象者別の縦割りサービスの再構築などを反映し進めている。令和 5 年度から 6 年度の組織改編で福祉総合相談課が「よりそい支援課」になった。この組織により、誰一人取り残さない施策の総合調整を行うことになった。地域のすべての人々の困りごとを福祉の地域振興部支所が支援機関につなぎ、CSW、寄り添い支援課、さらに支えあいの地域づくり、個別支援の連携を行う。

第9次豊田市総合計画に重層的支援体制の仕組みの活用をうたう。重層的支援体制は①困りごとを受け止め、多機関が協働し支援する「包括的相談支援」②「参加支援」③つながり合う「地域づくり」を9部35所属が連携して、重層的支援体制を構築する。

実績①包括支援事業702件➡6192件 ②相談支援は経済的困窮が一番多く、就労不安定、住まい、虐待、暴力、病気、けがの順になっている③参加支援としての地域づくりの実績は、全事業共増加している。よりそい支援課の在り方が「要」になっているのが成果としてもわかる。

◆都市整備部建築相談課

事前にお送りしてあった多くの質問に答えていただいた。

①居住確保の部屋は、市営住宅の一部を「生活支援事業」として利用している。
②セーフティネット住宅は、3523戸中3475戸は入居中。③住居者の見守りなどは、令和7年4月からスタートした「高齢者等終身サポート」につないでお願いします。高齢者に限らず要件を満たせば使える。④居住支援協議会を設立、年度内に5回ほど開催予定。⑤居住支援協議会の構成員の中に、行政機関として法務省中部矯正管区、法務省名古屋保護観察所が入っているのも特徴。7年度法務省中部矯正管区の発案で「刑予者の出口支援についての部会」を設立予定されている。⑥大家さん用「お悩み解決冊子」を作成し配布。大家さんを居住支援協議会でサポートする。

大都市でありながら、きめ細やかなサポートを行っていて学ぶことが多くあった。今後も注視していきたい。

※別添資料

調査視察地等の報告書

R7 年 10 月 1 日

日進市議会議長 様

議 員 名 白井えり子

実施年月日

9 月 30 日から
1 日間
9 月 30 日まで

行き先

静岡県袋井市中部学校給食センター

目 的

「日本一の学校給食」について、これまでの取り組み、食育基本計画、アクションプランなどの内容を研修した

報告事項

・袋井市は人口 8.6 万人、給食数は幼稚園から中学まで約 8800 食を 3 カ所の給食センターで調理。調理は委託業者。給食費は小学校 300 円、中学校 380 円。

・地場産の米 100%、野菜 35%を使用。有機米、オーガニック野菜は検討段階。

・アレルギー対応は専用室で、150 人中 110 人、10 品目に対応（3 施設に分ける）

・献立表をクックパッドに掲載して、家庭でも作れるように工夫。メニューに野菜いっぱい印をつけるなど工夫している。魚を多く取るようにしている。

・日本一健康文化都市宣言をしている中に給食をきちんと位置付け、3 歳から 1

5 歳まで、野菜中心、薄味の減塩の給食の食育が大人になっても減塩で継続され

るようにしている。おいしいだけでなく生涯の健康づくりにおよんでいる。

※別添資料

調査視察地等の報告書

令和 7 年 4 月 18 日

日進市議会議長 様

議 員 名 白井えり子

実施年月日

4 月 14 日から
1 日間
4 月 14 日まで

- ① 瀬戸市菱野団地周辺
- ② パルティセと

目 的

菱野団地と中心市街地の再生計画の現地スタディ、パルティセとにおいて「2025 年問題」について都市計画の視点からの講座を受講。その後参加者の 5 自治体の都市計画の課題について意見交換を行う。

報告事項

- ① 瀬戸市菱野団地は黒川紀章氏が設計したことで有名で「原山台」「八幡台」「萩山台」の 3 エリアで構成されている。ピーク時には人口約 2 万 3 千人いたが現在では 1 万 4 00 人と減少。「菱野団地再生計画」の具体的事例を学ぶフィールドワークに参加した。特に商店街は明暗を分けていた。中心に当たるセンター街まだ続けておられるエリアと完全に全部の商店が閉められたところとあった。その後、原山台、萩山台、八幡台の各小学校も来年度からは統合され、みつば小となるのを目視。
- ② サクランボ学園。10 年前に、肢体不自由のお子さん対象に開設された特別支援学校。普通校舎の 1, 2 階を支援学校。児童数の減少の普通学級が 3 階を利用していたが、来年度から普通学級は他校に統合され、全校支援学校となり高等部までここになるとのことであった。

③ にじの丘学園

瀬戸市立の小中一貫校。中学があったところを建て替えて新しくなっていたが、広い敷地、新しい校舎（1 階が小学部、2 階が中学部。7 年生と表示。中学としての入学式はない。）大変人気があり、小学部は増築の予定と聞く。

④ 廃校になった学校の利活用について見学。

・廃校になった古瀬戸小学校跡地利用で創られた地元の女子サッカー「ラブブリッジ名古屋」の練習グラウンドとして活用されているのを見学。朝日インテックが 2024 年 6 月に作ったグラウンド。隣接には保育園があった。

⑤ 瀬戸市中心を流れる瀬戸川河岸、深川神社の下の歴史的な銀座商店街を見学。

⑥ 午後はパルティセとにおいて、都市計画から見た 2025 年問題を受講。5 自治体のそれぞれの人口統計とまちづくりについて検証。人口推計、開発の状況など検証、他の自治体の人口推計、財政問題、都市計画問題など状況を報告し、財政、開発などの諸問題の課題について自分のまちを考えることができた。

⑦参加議員がそれぞれの立場から、自分の自治体の課題を報告し、アドバイスをもらい、参加者で意見交換を行った。

※別添資料

調査視察地等の報告書

R 7 年 8 月 18 日

日進市議会議長 様

議 員 名 白井えり子

実施年月日

7 月 2 1 日から
1 日間
7 月 2 1 日まで

行き先

日進市民会館、日進市内 5 団地フィールドワークにて調査

目 的

定期的に行っている都市計画学習会で、各自治体の都市計画の課題整理を考える中でフィールドワークを行い、現地調査後その街の在り方を考えることとなった。日進市は農村から旧住宅地造成事業法による民間による団地開発により人口が増え住宅都市となったが当初開発の団地の高齢化、建物の老朽化問題、地区計画の問題などがあり現地調査、その後座学を行った。

報告事項

- ①日生、日東東山団地 開発から 5 0 年以上がたち、居住者の入れ替わりがあるが、区画はそのまが多い。日生は地区計画を後から設定している。
- ②米野木駅前、米野木地区の新しい区画整理 駅、スーパー、ドラッグが増え、若い世代が大変増え活気がある。
- ③南山エピック 別荘型団地形式で、南のエリアは区画が広く、北のエリアは一般的な区画の広さ。自治会を中心に建築協定から地区協定をかける動きがある。
- ④五色園団地 1500 世帯の開発で大変広範囲の開発。子どもが減り、スーパーもなく高齢化の象徴のような団地になっている。

⑤竹ノ山から香久山地区 新しい区画整理により開発、小中併設の学校を見て、UR による大規模な区画整理が行われた香久山地区を調査。小学校、スーパー、クリニックなど生活に必要なものは徒歩圏内にある。開発については問題ないものの、コミュニティ作り、学区の問題など新たな問題がある。調査後市民会館にて瀬戸、豊明、みよし市などの都市計画の課題など話し合った。

各市町の比較検討ができるのは自分のまちを考えるのにとっても有益である。

調査視察地等の報告書

R7 年 11 月 7 日

日進市議会議長 様

議 員 名 白井えり子

実施年月日

10 月 9 日から
2 日間
10 月 10 日まで

行き先

栃木県宇都宮市
ライトキューブ宇都宮

目 的

第 87 回全国都市問題会議―成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～に出席のため

報告事項

10 月 9 日(木)9:30 開会式

①基調公園 広井良典氏（京都大学名誉教授）

②主報告 佐藤栄一氏（宇都宮市長）

③一般報告 南 学氏（東洋大学国際 PPP 研究所）

④一般報告 大西秀人氏（高松市長）

⑤一般報告 森本章倫氏（早稲田大学教授）

10 月 10 日（金）パネルディスカッション 内田奈芳美氏コーディネーター

吉田元氏、山下裕子氏、青山剛氏、伊木隆司氏

各報告別添

・第 87 回全国都市問題会議報告

●令和 7 年 10 月 9 日～10 日

●於 ライトキューブ宇都宮

●テーマ 成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～

1 日目

①基調講演 広井良典氏(京都大学名誉教授)

・テーマ 人口減少・成熟時代の都市とまちづくり

明治以降日本の人口は増え、2008 年をピークに減少傾向。2100 年には 2 分の 1 に。人口減少は危機ではあるが、チャンスでもある。成熟社会から新たな発想を考える。「豊かさとは何か」を再度考える機会。例として GAH(荒川区提案グロスアラカワハピネス)46 項目の幸福度指標、ウェルビーイング。人と人のつながり、自然環境、地域のあるモノ探しでプラス価値を考える。

若い世代がローカル志向の状況なら、これを支援する政策が必要である。

例 ふるさと回帰フェアなど今なぜ若者は地方を目指すのか。AI 活用の政策提言。2050 年日本は持続可能か。借金、1995 年から V 字の生活保護、社会的孤立・・・持続可能シナリオ、破局シナリオ。都市集中型か、地方分散化を考える。

恵庭市、山口市、宇都宮市など女性議員も増え、包括的広い分散を考える。

福祉についても、日米は車社会。ヨーロッパ、ドイツなどは歩いて楽しめる街。ウォーカブルなまちイコールコンパクトシティとしている。

高松市なども高齢化の中で歩いて楽しめるウォーカブルなまちを目指している。

一極集中から多極集中。商店街の復権。商店街はたまり場、コミュニティ、コモンズ、地球温暖化、グリーンインフラなど鎮守の森づくりなどを中心にコミュニティプロジェクトができる。こうしたことでローカルからの出発が可能である。

*感想 自分のまちにあるもので地方からできる新しいコンパクトシティの構想のヒントをいただいた。

(2)主報告 佐藤栄一氏(宇都宮市長)

・テーマ 人口減少社会に対応する都市の構造改革

～100 年先も発展できる「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成

宇都宮市は人口 51 万人、百人一首のまちとしてどのように持続可能なまちづくりを考えたのか。まちの特徴の中で、市内 80% が建築可能な都市。東京まで 1 時間、まさに NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)複数の環状道路、東西の大量輸送できるライトレイルができ東西軸の大量輸送の可能性がまちを変えた。女性、若者をはじめ性別、年齢などにかかわらずあらゆる人の活躍を促し、稼ぐ力を高める街を目指している。

*感想 100 年先を見据えた NCC 形成がどのようになるか。今後非常に興味がある。

(3)一般報告 南学氏(東洋大学国際ppp研究所)

・テーマ「縮充」発想による公共施設マネジメント

①成熟社会における公共施設マネジメントは「縮充」で

20～40年後2～4割の削減目標というところが増えている。

縮小をネガティブに捉えるのではなく、機能の充実につながるならむしろポジティブに考えられるのが「縮充」。公共施設の再編成のキーワードになると考えられる。

②公共施設マネジメントがなぜ進まないのか。

施設は建てた時から、将来の修理等を考えないといけないのに先送り。総務省が2014「公共施設等総合管理計画」策定を要請。実態は進んでいるのはごく少数。実質先送りが多い。

③包括的施設保守点検が基本方向

学校、公共施設など包括的点検、修繕委託をビルメンテナンス会社に委託する手法をとる自治体が増えてきた。行政の縦割り管理を一括して行う方法で長寿命化することになる。明石市方式では技術職の職員を雇用し、この現場業務に当たらせる方法は効果的ではあるが庁舎内体制が問題ではある。

④固定費(維持管理、人件費)の削減を図る

昨今の人件費、資材費の高騰で入札不調も多い。多少の税収では間に合わない。固定費の削減、施設の収益増が必要。施設の複合化、多機能化のほか小学校の空き時間の有効利用など検討する。

⑤縦割り構造を超えることで「縮充」

県や民間の施設などと地域施設として共用協定など考えていく。こうした手法は都市のあり方検討にも言える。

＊感想 今までも言われてはいたが、思い切ったの公共施設の包括的点検の在り方、官民の枠を超えたトータルな施設利用など再考のきっかけになった。

(4)都市縮小時代の持続可能なまちづくり—高松・丸亀町に見る都市の再生と自立性 大西秀人(高松市長)

高松市の都市課題

全国的にどこも人口減少、少子化による状況の中で、質を高め、一時的な景気対策ではなく、地域に根差した持続的な都市経営が必要である。事例として丸亀町商店街の再生。衰退の危機のところを住民、商店主、行政が一体になり構想から30年以上かけて官民連携の持続可能なまちづくりを実現。地域の人が何とかしようと地域主体のまちづくりに立ち上がり、地元主導の再生プロジェクトをスタートさせた。

個々のビルの建て替えではなく、面的整備を中心に、歩行者空間は買い物だけでなく暮らす・支える機能を融合させた空間を作った。成果と教訓として3つの評価。

・都市の回遊性とにぎわいの創出、買い物から滞在・交流の場へ転換。歩行者の通行

量は 2 倍増加した。

・歩いて暮らせる都市構造

建て替えビルには住宅、クリニック、子育て支援施設などを組み込む。

・市民主体の合意形成とルール作りの成功

再開発を行政主導でなく、住民、商業者、地権者が一体となりまちの将来像を描き具現化。開発後も質を保ち続けるうえで重要。

ビジョンの共有、成功体験の積み重ねが大きい。計画段階から市民が参加できるのは「自分事化」になる。また行政が民間の主体性を尊重しつつ後方支援をした。

街を誰がつくるのか！そこに暮らす人々自身の手により再生されるべきもの。今後も共創のまちづくりを進める。

＊感想 久しぶりにそうだ！と共感できるまちづくりのお話を伺った。

まちは行政が作るのではない、暮らす人々とともに創りだすもの。この姿勢を忘れないように自分のまちに活かしていきたい。

一般報告

(5)次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり

森本章倫氏(早稲田大学教授)

我が国の人口は 2008 年をピークに減少に。空き家の増加、税収減など課題となっている。2014 年多くの自治体で立地適正化計画の策定が進められている。

コンパクトシティの問題に交通の問題は関係している。集約エリアでは徒歩を中心とした「ウォーカブルなまちづくり」を目指す。

宇都宮市は、51 万人の人口の中核都市、2008 年に「ネットワーク型コンパクトシティ」を将来の都市像と掲げ、一貫してコンパクト政策を進めている。2023 年には LRT を導入し、人中心の交通システムの試みが続いている。導入後 2 年が過ぎたが、利用者は予想を上回る増え方。車からの転換台数は日 5000 台にもなり交通渋滞解消に貢献している。

＊感想 コンパクトシティと交通体系は重要な関係にある。LRT 導入は、車の転換台数日 5000 台。環境にも配慮になり、無料駐車場から通勤に利用されている方も多い。子ども達の利用も多くまちづくりには大成功！です。

10 月 10 日 パネルディスカッション

まちなかの「パブリック・ライフ」の再考 成熟社会におけるコンパクトな都市を考えるうえで

コーディネーター 内田奈芳美氏(埼玉大学教授)

パネリスト 吉田 元氏(関東自動車(株)社長)

山下裕子氏(まちなかひろば研究所)

青山 剛氏(室蘭市長)

伊木隆司氏(米子市長)

＊内田氏から

人口減ではなく、超成熟社会としてサービス業が製造業を追い抜いた時代になり手段としての都市計画が必要である。自己実現の場としての都市計画という時代になった。特に「ウォーカブル」という視点が重要。道路でも歩道を拡張して様々なことができる。様々な事例を紹介された。

＊吉田元氏(株)道のりHD 代表取締役

コンパクトで持続可能なまちにおけるネットワークの重要性

縦ぐし横ぐしの連携、DX から AX に。事例として小山市レベル2、下野市レベル 4。

NCC100%再生エネルギーゼロカーボンを目指す。EV バス、バス充電。

2022 年からトラカードに 10000 円分高齢者のカードに入る。

＊山下裕子氏 まちなか広場研究所主宰

特に事例報告には多くの事例が紹介された。富山市のまちなか広場、80 カ所竹林広場、いくつになっても出かけていける、出かけたい都市を考える。

＊青山 剛氏 室蘭市長

室蘭市における課題解決のためのコンパクトなまちづくりの事例報告。

＊伊木隆氏 米子市長

歩いて楽しいまちづくり宣言！事例紹介。

この 5 人によるこれから目指すべきコンパクトシティとは何か、その課題、未来にむけて実現できるものについて活発な意見交換が行われた。

感想

人口減によるコンパクトシティの在り方の意見交換の中で、今後目指すものは、「ウォーカブル」、歩いて暮らせる街づくり！

今回の全国都市問題会議に参加することにより、大きな視点から、コンパクトシティがどうあるべきかを学ぶことができた。日進のまちづくりに大変参考になる部分があった。

調査視察地等の報告書

R7 年 11 月 7 日

日進市議会議長 様

議 員 名 白井えり子

実施年月日

10 月 9 日から
2 日間
10 月 10 日まで

行き先

栃木県宇都宮市
ライトキューブ宇都宮

目 的

第 87 回全国都市問題会議―成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～に出席のため

報告事項

10 月 9 日(木)9:30 開会式

①基調公園 広井良典氏（京都大学名誉教授）

②主報告 佐藤栄一氏（宇都宮市長）

③一般報告 南 学氏（東洋大学国際 PPP 研究所）

④一般報告 大西秀人氏（高松市長）

⑤一般報告 森本章倫氏（早稲田大学教授）

10 月 10 日（金）パネルディスカッション 内田奈芳美氏コーディネーター

吉田元氏、山下裕子氏、青山剛氏、伊木隆司氏

各報告別添

・第 87 回全国都市問題会議報告

●令和 7 年 10 月 9 日～10日

●於 ライトキューブ宇都宮

●テーマ 成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～

1 日目

①基調講演 広井良典氏(京都大学名誉教授)

・テーマ 人口減少・成熟時代の都市とまちづくり

明治以降日本の人口は増え、2008 年をピークに減少傾向。2100 年には 2 分の 1 に。人口減少は危機ではあるが、チャンスでもある。成熟社会から新たな発想を考える。「豊かさとは何か」を再度考える機会。例として GAH(荒川区提案グロスアラカワハピネス)46 項目の幸福度指標、ウェルビーイング。人と人のつながり、自然環境、地域のあるモノ探しでプラス価値を考える。

若い世代がローカル志向の状況なら、これを支援する政策が必要である。

例 ふるさと回帰フェアなど今なぜ若者は地方を目指すのか。AI 活用の政策提言。2050 年日本は持続可能か。借金、1995 年から V 字の生活保護、社会的孤立・・・持続可能シナリオ、破局シナリオ。都市集中型か、地方分散化を考える。

恵庭市、山口市、宇都宮市など女性議員も増え、包括的広い分散を考える。

福祉についても、日米は車社会。ヨーロッパ、ドイツなどは歩いて楽しめる街。ウォーカブルなまちイコールコンパクトシティとしている。

高松市なども高齢化の中で歩いて楽しめるウォーカブルなまちを目指している。

一極集中から多極集中。商店街の復権。商店街はたまり場、コミュニティ、コモンズ、地球温暖化、グリーンインフラなど鎮守の森づくりなどを中心にコミュニティプロジェクトができる。こうしたことでローカルからの出発が可能である。

*感想 自分のまちにあるもので地方からできる新しいコンパクトシティの構想のヒントをいただいた。

(2)主報告 佐藤栄一氏(宇都宮市長)

・テーマ 人口減少社会に対応する都市の構造改革

～100 年先も発展できる「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成

宇都宮市は人口 51 万人、百人一首のまちとしてどのように持続可能なまちづくりを考えたのか。まちの特徴の中で、市内80%が建築可能な都市。東京まで 1 時間、まさに NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)複数の環状道路、東西の大量輸送できるライトレイルができ東西軸の大量輸送の可能性がまちを変えた。女性、若者をはじめ性別、年齢などにかかわらずあらゆる人の活躍を促し、稼ぐ力を高める街を目指している。

*感想 100 年先を見据えた NCC 形成がどのようになるか。今後非常に興味がある。

(3)一般報告 南学氏(東洋大学国際ppp研究所)

・テーマ「縮充」発想による公共施設マネジメント

①成熟社会における公共施設マネジメントは「縮充」で

20～40年後 2～4割の削減目標というところが増えている。

縮小をネガティブに捉えるのではなく、機能の充実につながるならむしろポジティブに考えられるのが「縮充」。公共施設の再編成のキーワードになると考えられる。

②公共施設マネジメントがなぜ進まないのか。

施設は建てた時から、将来の修理等を考えないといけないのに先送り。総務省が2014「公共施設等総合管理計画」策定を要請。実態は進んでいるのはごく少数。実質先送りが多い。

③包括的施設保守点検が基本方向

学校、公共施設など包括的点検、修繕委託をビルメンテナンス会社に委託する手法をとる自治体が増えてきた。行政の縦割り管理を一括して行う方法で長寿命化することになる。明石市方式では技術職の職員を雇用し、この現場業務に当たらせる方法は効果的ではあるが庁舎内体制が問題ではある。

④固定費(維持管理、人件費)の削減を図る

昨今の人件費、資材費の高騰で入札不調も多い。多少の税収では間に合わない。固定費の削減、施設の収益増が必要。施設の複合化、多機能化のほか小学校の空き時間の有効利用など検討する。

⑤縦割り構造を超えることで「縮充」

県や民間の施設などと地域施設として共用協定など考えていく。こうした手法は都市のあり方検討にも言える。

＊感想 今までも言われてはいたが、思い切ったの公共施設の包括的点検の在り方、官民の枠を超えたトータルな施設利用など再考のきっかけになった。

(4)都市縮小時代の持続可能なまちづくり—高松・丸亀町に見る都市の再生と自立性 大西秀人(高松市長)

高松市の都市課題

全国的にどこも人口減少、少子化による状況の中で、質を高め、一時的な景気対策ではなく、地域に根差した持続的な都市経営が必要である。事例として丸亀町商店街の再生。衰退の危機のところを住民、商店主、行政が一体になり構想から30年以上かけて官民連携の持続可能なまちづくりを実現。地域の人が何とかしようと地域主体のまちづくりに立ち上がり、地元主導の再生プロジェクトをスタートさせた。

個々のビルの建て替えではなく、面的整備を中心に、歩行者空間は買い物だけでなく暮らす・支える機能を融合させた空間を作った。成果と教訓として3つの評価。

・都市の回遊性とにぎわいの創出、買い物から滞在・交流の場へ転換。歩行者の通行

量は 2 倍増加した。

・歩いて暮らせる都市構造

建て替えビルには住宅、クリニック、子育て支援施設などを組み込む。

・市民主体の合意形成とルール作りの成功

再開発を行政主導でなく、住民、商業者、地権者が一体となりまちの将来像を描き具現化。開発後も質を保ち続けるうえで重要。

ビジョンの共有、成功体験の積み重ねが大きい。計画段階から市民が参加できるのは「自分事化」になる。また行政が民間の主体性を尊重しつつ後方支援をした。

街を誰がつくるのか！そこに暮らす人々自身の手により再生されるべきもの。今後も共創のまちづくりを進める。

＊感想 久しぶりにそうだ！と共感できるまちづくりのお話を伺った。

まちは行政が作るのではない、暮らす人々とともに創りだすもの。この姿勢を忘れないように自分のまちに活かしていきたい。

一般報告

(5)次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり

森本章倫氏(早稲田大学教授)

我が国の人口は 2008 年をピークに減少に。空き家の増加、税収減など課題となっている。2014 年多くの自治体で立地適正化計画の策定が進められている。

コンパクトシティの問題に交通の問題は関係している。集約エリアでは徒歩を中心とした「ウォーカブルなまちづくり」を目指す。

宇都宮市は、51 万人の人口の中核都市、2008 年に「ネットワーク型コンパクトシティ」を将来の都市像と掲げ、一貫してコンパクト政策を進めている。2023 年には LRT を導入し、人中心の交通システムの試みが続いている。導入後 2 年が過ぎたが、利用者は予想を上回る増え方。車からの転換台数は日 5000 台にもなり交通渋滞解消に貢献している。

＊感想 コンパクトシティと交通体系は重要な関係にある。LRT 導入は、車の転換台数日 5000 台。環境にも配慮になり、無料駐車場から通勤に利用されている方も多い。子ども達の利用も多くまちづくりには大成功！です。

10 月 10 日 パネルディスカッション

まちなかの「パブリック・ライフ」の再考 成熟社会におけるコンパクトな都市を考えるうえで

コーディネーター 内田奈芳美氏(埼玉大学教授)

パネリスト 吉田 元氏(関東自動車(株)社長)

山下裕子氏(まちなかひろば研究所)
青山 剛氏(室蘭市長)
伊木隆司氏(米子市長)

***内田氏から**

人口減ではなく、超成熟社会としてサービス業が製造業を追い抜いた時代になり手段としての都市計画が必要である。自己実現の場としての都市計画という時代になった。特に「ウォーカブル」という視点が重要。道路でも歩道を拡張して様々なことができる。様々な事例を紹介された。

***吉田元氏(株)道のりHD 代表取締役**

コンパクトで持続可能なまちにおけるネットワークの重要性
縦ぐし横ぐしの連携、DX から AX に。事例として小山市レベル2、下野市レベル 4。
NCC100%再生エネルギーゼロカーボンを目指す。EV バス、バス充電。
2022 年からトラカードに 10000 円分高齢者のカードに入る。

***山下裕子氏 まちなか広場研究所主宰**

特に事例報告には多くの事例が紹介された。富山市のまちなか広場、80 カ所竹林広場、いくつになっても出かけていける、出かけたい都市を考える。

***青山 剛氏 室蘭市長**

室蘭市における課題解決のためのコンパクトなまちづくりの事例報告。

***伊木隆氏 米子市長**

歩いて楽しいまちづくり宣言！事例紹介。

この 5 人によるこれから目指すべきコンパクトシティとは何か、その課題、未来にむけて実現できるものについて活発な意見交換が行われた。

感想

人口減によるコンパクトシティの在り方の意見交換の中で、今後目指すものは、「ウォーカブル」、歩いて暮らせる街づくり！

今回の全国都市問題会議に参加することにより、大きな視点から、コンパクトシティがどうあるべきかを学ぶことができた。日進のまちづくりに大変参考になる部分があった。

調査視察地等の報告書	
令和7年 11 月 23 日	
日進市議会議長 様	
議 員 名 白井 えり子	
実施年月日 10 月 22 日から 2 日間 10 月 23 日まで	行き先 東京都新宿区 日本青年館ホテル カンファレンスルームイエロー
目 的 第 30 回 清溪セミナーに参加のため	
報告事項	
10 月 22 日（水）	
講義 1 「現場から見た介護保険制度」講師 小島美里氏（npo 法人暮らしネット・えん代表理事）	
2010 年からスタートした介護保険も制度が崩壊しかけている。国が誤った訪問介護手当	
の引き下げをしたため、訪問介護ヘルパーが激減し、事業所閉所などその影響がでている。	
このままでは在宅支援が成り立たない。認知症が確実に増えているのにもかかわらず、身	
体介護モデル中心で実態とずれている。今後の在宅支援、介護保険は崖っぷちであること	
を政府も地方議員も党派を超えて皆が認識する必要がある。	
＊受講者は地方の男性議員も多い中、この実態を知っていただけたことは非常に良い機会	
であった。これを持ち帰りどう地元で活かすか。	

講義 2 社会の変化とこれからの学校教育～主体性と当事者性～
講師 工藤勇一（教育アドバイザー）
日本社会の問題は学校教育の問題そのもの、不登校が 34 万人、自死 529 人、教員の過重
労働問題は日本特有の問題。低い自己肯定感、低い幸福度。自己決定をかんがえていかな
いと変わらない。
教師側も 150 年教育を考えてきた。何を考え、（カリキュラム）、どう教えるか
（教え方。）学ぶ側から教育を考えていく、教えるからまなぶ。自分に合った
学び方は子ども自身が決める。
分離教育、インクルーシブ教育・・・など教育の在り方に新たな一石を投じた。
*今の公教育も曲がり角に来ている。こうした考え方もあると大変参考になった
講義 3 「子育て支援策の一步先へ～まち全体での子育て～
講師 奥 正親氏（岡山県奈義町長）
奈義町の少子化対策、人口 5 4 2 0 人、世帯数は 2 3 9 6 世帯。少子化対策は子
育て世代だけの問題ではない。「子育て応援宣言のまち」を宣言することで、町民
へ「安心感」と「心強さを」つたえられる。
・産前産後のケア、子育てサポート制度、経済的支援、しごとコンビニ事業
・子ども議会復活、魅力ある教育では 1 2 人の A L T 配置事業
・雇用の創出、働く場の提供、企業誘致
・住む場所の提供、賃貸住宅、分譲地整備
有効な少子化対策は、経済的支援、メンタル的支援、安心感の醸成、地域課題解決
に取り組む必要がある。
*小さな町が本気で少子化の解決には「皆の問題」という意識で、町が一丸となり
取り組んでいることが課題解決に大きくつながっていると感じた。

10月23日 講義 4「人口減少社会を生き抜くために」
講師 増田 寛也氏（野村総研顧問）
人口減少社会とはどういうものか、経済、福祉など、根本の分析からもう一度
検証を行う。新たな人口減少社会を生き抜く方策を考えなければならない。
・地方創生 1、人口減少対策 2、地域経済の活性化策 3、東京一極集中
4、国民の意識啓発
・人口減少 自然減、社会減
・定住人口 関係人口、交流人口
・ニ地域居住
・若者や女性にも選ばれる地域
・人口減少が進行する中でも「稼げる」地方
*人口減少、少子化は本市においても他人ごとではない。きちんと検証していくこ
とが必要だと強く思った。
*普段も女子学生相手に講義をされている中で笑いを取りながらの防災授業！このよう
にやるのは大変効果的だと実感した。
講義 6 第30回記念対話 被爆戦後80年核兵器のない世界へ日本が果た
す役割とは 講師 松井 一實氏（箕牧智之氏は欠席）
*松井市長のお話を2時間近くにわたりお聞きできたことは核兵器廃絶運動の今後
が改めて受講者全員に問われ、今後各自何をするのか！大きな宿題をもちかえることに
なった。
全体を通して今回もタイムリーで深い内容の講座だった。

調査視察地等の報告書

令和7年 11 月 26 日

日進市議会議長 様

議 員 名 白井 えり子

実施年月日

令和7年 10 月 27 日から
2 日間
10 月 28 日まで

行き先

熱海市昭和町
熱海市有形文化財起雲閣

目 的

第44回「高齢社会をよくなる女性の会」全国大会に参加

報告事項

10 月 27 日

基調講演 名取はにわ氏（日本社会事業大学理事長・元内閣府男女共同参画局長）

「男女共同参画・老若男女の生き抜く力」

基調講演 林家たけ平氏（落語家）「昭和歌謡に見る女のあしあと」

10 月 28 日シンポジウム

「医療と介護の連携で安心の在宅ケアを一幸せな長寿社会へ」

シンポジスト

①厚生労働省担当課長 ②医師 ③熱海市役所担当室長 ④介護支援専門員

※詳細別添

第 44 回「高齢社会をよくなる女性の会全国大会 i n 熱海」報告書

●2025 年 10 月 27 日

1 基調講演 「男女共同参画・老若男女の生き抜く力」

講師 名取はにわ氏（元総理府男女共同参画室長・現社会事業大学理事長）

・SDGs では 2030 年までに第 5 目標のジェンダー平等を掲げている、他の目標も達成できるかはこの第 5 目標にかかっている。

・2025 年は、1995 年の北京女性会議から 30 年。1999 年 6 月男女共同参画社会基本法交付・施行されたが日本のジェンダー平等の現状は世界とくらべて遅れている。ジェンダーギャップ指数 148 か国中 118 位、高等教育男女比率 112 位、政治 125 位衆議院の女性比率 15.7%、経済 112 位、男女間賃金格差が大きい。ようやく女性活躍推進法により、雇用主に男女別賃金報告が求められるようになった。男性の育休取得も増えてきた。こうした取り組みを進めて 1 日も早く男女共同参画社会が実現することを願っている。

資料より。

・男女賃金格差は年齢が上がるにつれ拡大。女性は一度仕事を辞めると非正規労働になる。日本の女性は家事育児を担っている。

日本の高齢者の貧困率は、女性が 22.8%、男性が 16.6%

子供のいる夫婦で夫の家事育児時間と、第 2 子出生状況は比例する。

● 2 基調講演 「昭和歌謡に見る女のあしあと」

講師 林家 たけ平氏（落語家・昭和歌謡研究家）

今年は昭和 100 年。特に女性の生き方に焦点をあて昭和歌謡で女性史を踏まえながら
東京ブギウギ、星の流れに、うちの女房にゃひげがある、東京のバスガール、狙い撃ち、人生いろいろを紹介された。

● 10 月 28 日

シンポジウム

「医療と介護の連携で安心の在宅ケアを～幸せな超長寿社会へ～」

シンポジスト

①厚生労働省老健局総務課長②熱海市長寿介護課介護保険室長③さくら医院院長④熱海市社会福祉協議会主任ケアマネージャー

コーディネーター（高齢社会をよくする女性の会副理事長）

2040 年問題→2040 年の社会保障給付費は約 1.3 倍増加の見込み。（年金約 1.2 倍、医療費約 1.4 倍、介護費用約 1.7 倍）

企業で働きながら家族の介護を担う「ビジネスケアラー」が増加。介護と仕事の両立支援の必要性。

2025 年は高齢化の過渡期、2040 年には高齢者がピークになり高齢化率も約 35 %、労働人口の減少（経済規模の縮小、生産性の低下）、地方の過疎化、インフラの老朽化

● 熱海市を事例に高齢化の課題を考える（医療と介護の連携）

面積 61.70 平方キロ、人口 32,985 人（減少方向にある）

- ・熱海市はすでに超高齢社会（高齢化率 48.7 %）
- ・熱海市の介護保険料は全国平均（6225 円）を下回っている
- ・平均寿命は静岡県、近隣市町より下回っている
- ・健康寿命男女とも全国 5 位の中では低い

- ・ 高齢単身世帯や夫婦 2 人世帯の割合が高い
- ・ 要介護の認定者数 緩やかに増加方向、令和 8 年度からはやや減少方向
- ・ 65 歳以上の 2 割程度が認定者
- ・ 後期高齢者、単身者が多い→介護保険の受給率が高い→介護サービス利用が増加→介護人材の不足が加速

→介護予防に注力→行政、医療、介護のネットワーク強化

医院・在宅医療に必要な体制を強化する

どこで最後の時を過ごすか＝どこで自分らしく生きるか？

社協・地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することができる福祉のま

ちづくりの様々な活動をしている。

2040 年人材不足に向けて、今のままではむづかしくなる。テクノロジーの導入、

社協のボランティアを増やす

地域包括センター、行政、社協、医療、ボランティア団体等協力して高齢者をさ

らに支えていく。

* このほか熱海市長から、熱海市の向かうまちづくりの方向など報告あり。

以上

調査視察地等の報告書

R8 年 2 月 12 日

日進市議会議長 福安 淳也 様

議 員 名 白井 えり子

実施年月日

1 月 26 日から
2 日間
1 月 27 日まで

行き先

千葉県木更津市

目 的

- ①オーガニックなまちづくり、学校給食米の取り組み
- ②クルックフィールズ見学
- ③道の駅 うまくたの里見学
- ④新朝日庁舎（イオンが建てた庁舎）見学
- ⑤木更津教育の日研修会の実施の経緯、成果について調査、研修のため

報告事項

①オーガニックなまちづくり条例制定、町全体がSDGs とオーガニックなまちづくり。学校給食に有機米100%提供までの経緯を研修

②30ha の牧場跡地に農場開設、農産物の提供、アートなエリア作りなど見学

③道の駅 うまくたの里は年商11億円。活気のある運営についておききした

④イオンが建てた建物の2階を中心に庁舎が入っており、共に市民に好評

⑤教育長自ら、自立する力と共生をする姿勢を身につけた児童生徒の育成についてご報告いただき、木更津の教育についての研修を受けられた。

・ 詳細別紙

令和7年度清溪セミナー千葉県木更津市視察報告

1月26日～27日

(1)オーガニックなまちづくり

於市役所駅前庁舎7階

担当 企画部オーガニックシティ推進課

・人口約13万7千人「都心に一番近い田舎」として、現代社会の課題に直面。

物の豊かさから心身の健康、自然との共生に価値観のシフト。里山、自然干潟、都心からのアクセスの良さの中「木更津らしいブランド力」は何か。

市長の強い思いから、SDGs→まちづくり=オーガニックなまちづくりとし、H28年、「オーガニックなまちづくり条例制定」→アクションプラン策定→2030年のあるべき姿を掲げ様々な取り組み。オーガニックなまちづくりに取り組むことことでSDGsの達成に貢献。SDGs未来都市に選定される。

- ・農業から、まち全体へ
- ・地域循環共生圏があたらしいまちづくりの仕組み
- ・子ども達に誇れるまちへ

次の10年に向け進める目標とする。

* 大きなSDGsの目標があり、農業だけでなく町ぐるみ持続可能な社会づくりを進めるためにオーガニックなまちづくりが必要ということが説明の中でよくわかり、点だけでは進まない中、首長の強い思いがあつてこそとよく理解できた。

(2)木更津市の学校給食 有機米学校給食提供 学校給食課

・調理食数は全30校で約11,500食

センター方式 10校 約5600食

自公親子方式 19校 約5400食

自公単独方式 1校 約500食

給食費は小学校 265円

中学校 320円

・有機米100%を目指しては、市の施策オーガニックなまちづくりの一環として位置づけている。

・有機米の差額は市が補填。オーガニック給食基金もある

・週4回米飯給食を提供

- ・第3子以降給食費無償化
- ・生産者5名約1.8ha からスタート。現在は26人
- ・給食米だけでなく、米粉バウムクーヘン、中米を使用の日本酒も製造販売。JA 木更津と協力体制が強い。
- * 大きなまちづくりの理念、コンセプトの中で、給食米の生産も進み、中米は捨てられず、日本酒の製造に活かされていて、丸ごとオーガニックを実感した。

(3) クルックフィールズ見学・説明

クルックフィールズ職員

2010年牧場跡の30ha に民間が農場開設

- ・翌年年間約40トンの有機農産物を出荷、販売
- ・農場内にメガソーラーを設置し、売電事業開始
- ・休日に朝市を開催
- ・その後敷地内に、食べる、学ぶ、アート、泊まるなど次々企画運営を広める

* すべて民間の企画、資本、運営で行われている。民間と連携はお互いに活かしあえてとても学ぶことが多い。

ここを活用しようとされたのもオーガニックなまちづくりのコンセプトに自社の企画が合うことで ここへの莫大な投資になった。(市の負担はなし)

基本理念で一致することが大きなまちづくりに活かされる参考になる事例を見ることができた。

(4) 道の駅 うまくたの里 見学

2017年開駅。地元のオーガニックブルーベリー、落花生、魚介類を活かした 200 種類もの商品開発に圧倒された。

担当の販売員の女性たちの元気のよい声に思わず買ってしまう。

農家さんの野菜、海産物加工品、レストランなど幅広くそろえられている。

市の委託？毎年市が3000万円支払い、道の駅から7000万円のお支払い。年商11億！売り場も手狭になり、増築予定。

(5) 木更津教育の日研修会実施経緯、成果

木更津市教育長

: 合わせて新朝日庁舎(イオンの建てた中に庁舎が入っている)見学

資産管理部庁舎整備室

令和10年に駅前新庁舎供用開始予定、朝日新庁舎は賃貸でイオンの建てた中に賃貸で入るという2本立て。

複合施設として、うまくゾーンを分け、公用車の駐車場は70台屋上に整備。2階建ての小ぶりな建物で、買い物ついでに市役所に、市役所に来たついでに買い物もと両者にメリットあり。

商業スペース2、市役所スペース1の割合になっている。

フロアも柱に番号が振ってありわかりやすい。待合のイスも間伐材のベンチイスでここにもオーガニックなまちづくりがいかされている。

「学校教育新木更津プラン 木更津教育の日設定」
教育長自らご説明いただいた。

・変化の激しい現代社会を生きるために、今年度特に「考える力」「主体性を伸ばす」に力を入れている。そのため、市内全教職員で共有、意識の統一化を図るため全学校教職員対象の研修会を設定。

講師に工藤勇一アドバイザーを招きこれまでの当たり前を徹底的に見直した。全3回行い、成果を得た。

・小規模特認校制度について

一定の条件の下で学区を超えて市内全域から入学、転校を認める
小規模の特色ある教育活動を行える。

送迎用バスの運行委託をしている

小規模特認校の児童生徒数137名→535名に利用が増えている

制度を利用している児童生徒数19名→153名に利用が増えている

特色のある所を選ぶことができ、教育内容が魅力的で選んで通える。

* 工藤先生の教育が実践されていてその取り組みのダイナミックさに驚いた。市内全教職員が共通の認識を持たないとなかなか実践できない。
オーガニックなまちづくりには教育、人づくりまで及ぶことが分かった。

* 今回「オーガニックなまちづくり」は農業だけでなく、すべてのまちづくりに及び、人づくり、教育にも大きな影響がある。

首長、教育長が同じ志で、教員、保護者にも理解と賛同を得て子ども達を育てていく必要性、ダイナミック性に今回の木更津で大きな収穫を得ることができた。

大きな柱を本市にも立てられたらと思った視察であった。

調査視察地等の報告書

R8年 2月 22日

日進市議会議長 様

議 員 名 白井えり子

実施年月日

1月 29 日から
1 日間
1月 29 日まで

行き先

Zoom 参加のため自宅にて研修

目 的

第50回 地方×国 政策研究会（衆議院第2議員会館第2会議室）にズーム参加

報告事項

（1）2026年度地方財政対策・2025年度国の補正予算・自治体財政

①地方財政対策（計画）とは

総務省職員説明

・2026年度地方財政対策、2025年度国の補正予算

（2）ウオーターPPPなど上下水道企業会計の課題

①ウオーターPPP、上下水道企業会計のポイント

総務省職員説明

②民営化の課題

センター手配講師説明

※別添資料

2026 年1月 29 日

第 50 回 地方×国政策研究会

(1) 2026 年度地方財政対策(計画)・2025 年度補正予算、自治体財政について

総務省職員説明

①通常収支分

- ・一般財源総額の確保 一般財源総額(交付団体ベース)67.5 兆円確保
- ・地方交付税総額を 20.2 兆円(対前年度比プラス 1.2 兆円)確保
- ・当分の間いわゆるガソリン減税は地方特例交付金により全額補填

②地方財政の健全化

- ・臨時財政対策債の新規発行額をゼロにしたうえで、臨時財政対策債償還基金費(仮称)0.8 兆円を創設。交付税特別会計の借入金残高を 2.9 兆円縮減

③物価高・官公需の価格転嫁への対応

- ・委託料、維持補修費、投資的経費等については、0.6 兆円増額計上とともに、普通有交付税の算定で地方団体の価格転嫁の取り組み反映

④教育無償化への対応

- ・係る地方負担 0.4 兆円は、地方財政計画の歳出に全額計上し、一般財源総額を増額確保
- ・公立高校の人材育成のために「高等学校教育改革等推進事業費 0.1 兆円を計上、仮称高等学校教育改革等推進事業債創設

⑤(仮)地方未来基金の創設

- ・都道府県の産業クラスター付加価値向上、販路拡大のため未来基金 0.4 兆円創設

⑥防災・減災対策の推進

- ・対象事業を拡充、事業期間を令和 12 年度まで延長

⑦公営企業の経営基盤の強化

- ・「公営企業経営改善特例債(仮)」を創設
- ・インフラ老朽化に対応するため、上下水道事業に係る地方財政措置を拡充
- ・病院事業に係る地方財政措置を拡充

令和 7 年度補正予算の概要

(1) 足元の物価高への対応

- ・厳冬期の電気、ガス第支援 5,296 億円
- ・物価高対応子育て応援手当支給 3,677 億円
- * ガソリン、軽油の当分の関税率の廃止 減税 1.5 兆円
- * 基礎控除引き上げ等による所得減税(令和 7 年度税制改正法)減税 1.2 兆円

(2) 地方の伸びしろの活用と暮らしの安定

- ・医療・介護(処遇改善・経営改善) 13,832 億円
- ・地域未来交付金 1,000 億円
- ・子ども、子育て支援(保育士等の処遇改善、子どもの貧困対策等)2,559 億円
- ・高校無償化への対応 2,950 億円
- ・小学校給食無償化 156 億円
- ・地方交付税交付金の増額 13,041 億円

(3) 中小企業・小規模事業者を始めとする賃上げ環境の整備

- ・賃上げに向けた中小企業等の稼ぐ力の強化 8,410 億円
- ・業務改善助成金による最低賃金引上げ対応支援 352 億円

危機管理投資・成長投資による強い経済の実現

(1) 経済安全保障の強化

略

(2) 食料安全保障の確立

- ・農業構造転換(農地の拡大化、共同利用施設の再編、集約化。新品種の開発等)

(3) エネルギー・資源安全保障強化 略

(4) 防災・減殺・国土強靱化の推進

(5) 未来に向けた投資の拡大

- ・2026 年アジア・アジアパラ開催支援 136 億円

防衛力と外交力の強化

米国関税への対応

- ・中小企業の資金繰り支援 122 億円

今後への備え 予備費追加 7,098 億円補正

地域未来予相図

- ・国費等 21.3 兆円

* 総務省の職員の説明なので、国の予算の問題、補正予算など具体的でわかりやすかった。

上下水道の污水管の改築など、官民連携方式（ウォーターppp）の導入が条件との方向性もあり。課題があげられた。

難しい問題だと思った。

調査視察地等の報告書

R8 年 2 月 22 日

日進市議会議長 様

議 員 名 白井えり子

実施年月日

2 月 11 日から
1 日間
2 月 11 日まで

行き先

ズーム形式の為自宅にて

目 的

毎年講師による予算、決算の学習会に参加をしている

報告事項

第一部

「26年度予算を読む」 講師 菅原敏夫氏

第1部

26年度国・自治体予算

高市経済政策と「物価高」

インフレと経済対策

第2部

各参加自治体の状況報告・意見交換

※別添資料

2026 年 2 月 11 日

26 年度予算を読む

第 I 部

(1) 本日のテーマ 国・自治体予算、田尾アイチ経済政策と「物価高」
インフレと経済政策

(2) 予算編成プロセス

①骨太の方針 25 年 6 月 13 日

②決算見込み

③高市首相所信表明演説内容

④26 年度補正予算成立

⑤政府予算案 12 月 25 日

⑥大臣折衝

⑦自治体予算編成

⑧自治体の 26 年度予算案・東京都と愛知県

(3) 広島市指定地域共同活動団体の指定等に関する条例

第 2 部

①各自治体の状況報告、意見交換

日進市、豊明市、みよし市、刈谷市

*講師の国の予算編成の状況などお聞きし、それが地方にどのように影響があるかをお聞きした。

高市首相が選挙で言われた給食費無償化、いわゆる年収の壁 178 万円、消費税の問題など本市への影響はどのようになるのかお聞きした。

2 部の各自治体の財政の課題の意見交換は大変勉強になった。

今後の社会情勢を注視していきたい。

参考 第3号様式（第13条関係）

令和7年度政務活動費会計帳簿

議員氏名 白井 えり子

(単位：円)

年月日	摘 要	収 入	支 出	残 高	科 目	領収書 番号
R7. 4. 18	令和7年度交付分	150,000		150,000		
R7. 4. 5	会派議会報告会&市民懇談会 (6/29) 会場費・マイク代 3人按分		997	149,003	広聴費	1
R7. 4. 8	月刊ガバナンス年間購読料		14,256	134,747	資料購入費	2
R7. 4. 14	第1回都市計画学習会参加費		4,000	130,747	研修費	3
R7. 4. 14	大都市近郊の基礎調査資料 3冊セット		1,000	129,747	資料購入費	4
R7. 4. 16	国保新聞年間購読料		5,100	124,647	資料購入費	5
R7. 5. 19	豊田市視察手土産 6人按分		743	123,904	調査研究費	6
R7. 7. 21	第2回都市計画学習会参加費		4,000	119,904	研修費	7
R7. 8. 7	書籍3冊 被災地における性暴力他		3,400	116,504	資料購入費	8
R7. 8. 12	会派議会報告会&懇談会 (9/20) 会場費マイク代 3人按分		997	115,507	広聴費	9
R7. 9. 23	袋井市視察交通費		6,760	108,747	調査研究費	12
R7. 9. 25	第87回全国都市問題会議宿泊 費		28,000	80,747	研修費	10
R7. 9. 26	9月30日袋井市視察手土産 3 人按分		693	80,054	調査研究費	11
R7. 9. 30	全国都市問題会議 交通費		23,140	56,914	研修費	13
R7. 10. 7	会派議会報告会&懇談会按分 (12/6) 会場費・マイク代 3人按分		997	55,917	広聴費	14
R7. 10. 14	第87回全国都市問題会議視察 参加費		10,200	45,717	研修費	15
R7. 10. 22	第30回清溪セミナー宿泊費		10,000	35,717	研修費	16
R7. 10. 22	第30回清溪セミナー参加費		29,000	6,717	研修費	17
R7. 10. 28	介護保険サービス実態報告書		500	6,217	資料購入費	18
R7. 12. 6	会派議会報告会&懇談会 (12/6) プロジェクター代 3 人按分		343	5,874	広聴費	19
R8. 1. 6	第50回地方×国政策研究会参 加費		2,000	3,874	研修費	20

R8. 1. 10	会派議会報告会&懇談会 (3/20) 会場費マイク代 3人按分		997	2,877	広聴費	21
R8. 1. 20	清溪セミナー木更津市研修交 通費		16,300	-13,423	研修費	22
R8. 1. 26	清溪セミナー木更津市現地視 察費		3,650	-17,073	研修費	23
R8. 1. 26	清溪セミナー木更津市研修宿 泊費		13,200	-30,273	研修費	24
R8. 2. 6	予算学習会参加費		3,000	-33,273	研修費	25
R8. 3. 17	しんぶん赤旗日曜版年間購読 料		11,880	-45,153	資料購入費	26
合 計		150,000	195,153	-45,153		

旅費精算内訳書

氏 名	白井えり子
目 的	袋井市の学校給食についての行政視察
行 き 先	静岡県袋井市中部学校給食センター
期 間	令和7 年 9 月 30 日 ～ 令和7 年 9 月 30 日

交 通 費 内 訳

月日	種別	明 細	金 額 (円)
9 / 30	JR	名古屋 ↔ 愛野	6,760
		↔	
		↔	
		↔	
/ 		↔	
		↔	
		↔	
		↔	
/ 		↔	
		↔	
		↔	
		↔	

※乗車券及び特急券の購入において、割引制度を利用しています。

交通費小計	6,760 円
宿 泊 料	円
実績合計額	6,760 円
政務活動費充当額	6,760 円
差 引 額	0 円

※ 種別は、飛行機、J R、鉄道、地下鉄、バス、車 等を記入のこと。

旅費精算内訳書

氏 名	白井えり子
目 的	第87回全国都市問題会議参加
行 き 先	ライトキューブ宇都宮
期 間	令和7 年 10 月 8 日 ～ 令和7 年 10 月 10 日 （ 2 泊 3 日 ）

交 通 費 内 訳

月日	種別	明 細	金 額 (円)
10 / 8	JR	名古屋 → 宇都宮	12,220
		←→	
		←→	
		←→	
10 / 10	JR	宇都宮 → 名古屋	10,920
		←→	
		←→	
		←→	
/ 		←→	
		←→	
		←→	
		←→	

※乗車券及び特急券の購入において、割引制度を利用しています。

交通費小計	23,140 円
宿 泊 料	28,000 円
実績合計額	51,140 円
政務活動費充当額	51,140 円
差 引 額	0 円

※ 種別は、飛行機、J R、鉄道、地下鉄、バス、車 等を記入のこと。

旅費精算内訳書

氏 名	白井えり子
目 的	清溪セミナー木更津市現地視察
行 き 先	千葉県木更津市
期 間	令和8年 1月 26日 ～ 令和8年 1月 27日 1泊2日

交 通 費 内 訳

月日	種別	明 細	金 額 (円)
1 / 26	JR	名古屋 → 東京	8,150
		←→	
		←→	
		←→	
1 / 27	JR	東京 → 名古屋	8,150
		←→	
		←→	
		←→	
/ 		←→	
		←→	
		←→	
		←→	

※乗車券及び特急券の購入において、割引制度を利用しています。

交通費小計	16,300 円
宿 泊 料	13,200 円
実績合計額	29,500 円
政務活動費充当額	29,500 円
差 引 額	0 円

※ 種別は、飛行機、JR、鉄道、地下鉄、バス、車 等を記入のこと。

① 4/5

6/29 市会
報告
白井 997
山田 997
舟橋 096

領 収 書		No. 0016
日進市議会 政策研究会 味来ネット 様		2025年 4月 5日
金額	金 2990 円	担当
□但し 施設・附属設備使用料 として上記正に領収いたしました。		
内訳	現金 6/29分 クレジット	〒470-0128 愛知県日進市浅田平子二丁目 日進アシスト 日進市市民会館
税率	税抜 2719	〒470-0115 愛知県日進市折戸町笠寺山62番地3
%	消費税 271	TEL(0561)72-0955
登録番号 T 3180001067497		FAX(0561)72-0958

② 4/8

収入印紙

日進市議会議員
白井えり子 様
領 収 書
¥ 14,256.-

東京都江東区新木場1丁目18番11号(136-8575)
株式会社 ぎょうせい
代表取締役 西本 功二 様

金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

令和7年4月8日

領収書番号	取扱者
369	

[内訳] 上記のとおり領収いたしました。

品 名	数量	単価	金額	備考
月刊ガバナンス 2025年4月号～2026年3月号	12	1,188	14,256	

*本証に領収書番号及び取扱者印のないときは、その責を負いません。

日進市議会議員

領 収 証

白井 三子 様

金 4,000 円

但し、令和7年度第1回都市計画学習会参加費として

令和 7年 4月 14 日 上記正に領収いたしました

市町村議会議員都市計画塾

事務局 名古屋市守山区

鬼頭 弘子

TEL/FAX 052-792-1156

日進市議会議員

領 収 証

白井 三子 様

令和7年 4月 14 日

★ 1000 円

但 資料代 (名古屋市近郊の農村地域の
上記正に領収いたしました 暮らしの持続のための

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

愛西市空家調査隊 基礎調査
他2冊
安田 恵子

⑤

領 収 書

金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
				¥	5	1	0	0

但し、「国保新聞年間購読料」として

令和7年度(令和7年4月1日号～令和8年3月20日号)

上記の金額領収いたしました

令和7年4月16日

〒470-0117

愛知県日進市藤塚6-25

日進市議会議員 白井 えり子 殿

〒100-0014

東京都千代田区永田町1丁目11番35号

公益社団法人 国民健康保険中央会

理事長 原 勝則

6

名古屋・八事
栗宗庵

別途領収証発行済
栗宗庵 日進店
日進市栄2-403
TEL 0561-72-5988

2025年 5月19日 17:40 責任02
000000#3452 内藤

銘菓詰合	2,130x 2
**小計	外¥4,260
	¥4,260
%1	-3.00%
**小計	-128
軽減8%小計	¥4,132
軽減8%外税	¥4,132
個数	¥330
**合計	2個
現金	¥4,462
おつり	¥10,462
	¥6,000

「外」印は軽減税率(8%)適用商品
登録番号 T7180001008068

5/19 豊田市
12時
743

山田
744

新橋
743

豊田 744

田中 744

744

日進市議会
政策研究会「あけ」
政策研究会「あけ」様

領 収 証

No. 5042
2025年 5月19日

金4,462円 但し消費税は別添付にて

上記正に領収いたしました

(税抜金額 ¥4,132)
(消費税等 ¥330)

栗宗庵

名古屋市昭和区広路町字石坂36
株式会社 栗宗庵
八事本店 TEL 052-831-2488
日進店 TEL 0561-72-5988



日進市議会議員

領 収 証

白井元子 様

金 4,000 円

但し、令和7年度第2回都市計画学習会参加費として

令和 7年 7月 2日 上記正に領収いたしました

市町村議会議員都市計画塾

事務局 名古屋市守山区

鬼頭 弘子

TEL/FAX 052-792-1156

領 収 証

日進市議会議員

白井 エリ子

様

2025 年 8 月 7 日

★ 3400,-

但 ①被災地における性暴力 400
②女たちが語る阪神・淡路大震災 2200
上記正に領収いたしました 800.
③災害と女性

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

ウィメンズこうべ

正井 禮子

0001-4160

日進市議会

政策研究「未来ネット」

領 収 証

様

¥ 2,990 -

(消費税 ¥ 271)

2025 年 8 月 12 日 火曜日

9/20市議会
報告

白井 997

山田 997

白井 996

但し、
日進市民会館
TEL: (0561) 72-0955
日進アシスト株式会社
TEL: (052) 800-0071

日進市折戸町笠寺山62番地3

日進市浅田平子二丁目245番地
登録番号 T3180001067497

担当者

領収証No 0169

大会議室	¥2,490
ポータブルMCセット	¥400
追加マイク	¥100
小 計	¥2,990
10%対象	¥2,990
10%税	¥271
合 計	¥2,990
(うち消費税)	¥271
お預り	¥3,000
お釣り	¥10

登録番号 T3-1800-0106-7497

1責

4160 16時24分

10

領 収 証

日進市議会議員
白井 えり子 様

No. 010579

2025 年 9 月 25 日

金額

¥ 28,000-

但し 10/8~23日 ご宿泊代金として
上記の金額正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳

8% (税込・税抜) 金額	消費税額等
/	/
10% (税込・税抜) 金額	消費税額等
¥ 28,000-	¥ 2,545-

近畿日本ツーリスト 特約店

株式会社ジェイエルシー

〒470-0113

愛知県日進市栄2丁目1603番地 ヴィオラ日進1号

TEL.0561-73-3070 FAX.0561-73-3095

登録番号 T9180001067013



9/26



道の駅

マチテラス日進
MACHI TERRACE NISSIN

9/30 袋井市

登録番号: T4060001007225

株式会社ファーマーズ フォレスト

道の駅マチテラス日進

愛知県日進市本郷町前田33

TEL: 0561-76-7820

2025年 9月26日(金) 13:43 #000001
800010フルセルフ 3016***** 領収証明細 *****
検索日付 2025-09-26
検索レジ番号 000020
検索シート番号 6643
領収書発行番号 0008
金客員 ¥2,080

内8 小倉トーストラングド ¥2,080

小計 ¥2,080
買上点数 1点合計 ¥2,080
(税率 8%対象額 ¥2,080)
(内消費税等 8% ¥154)

外8,内8は軽減税率対象商品です。

商品の交換並びに返金については
ご購入日より生鮮品は3日、一般品
は7日以内にてご了承下さいませ。
レシートをご持参ください。駅-No 530521 領収書-No 54
窓口-No 1

領 収 書

袋井市

(12)

日進市議会議員 白井 様

金額 ¥6,760円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年 9月23日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納

付につき名古屋中村

税務署承認済

千種駅

現金出納社員



領 収 書

日進市議会

政策研究会「未来ネット」様

¥2,080-

但し、菓子代

No.000020-0008-6643 (000001-0008-3016)

2025年09月26日 (2025年09月26日)

消費税

154円を含む。

として上記正に領収いたしました。

登録番号: T4060001007225

株式会社ファーマーズ フォレスト

道の駅マチテラス日進

愛知県日進市本郷町前田33

※財布等にはさんで保管願う場合は、
印刷面を内側に折の保管をお願いいたします。駅-No 530522 領収書-No 61
窓口-No 1

領 収 書

日進市議会議員 白井 様

金額 ¥23,140円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

2025年 9月30日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納

付につき名古屋中村

税務署承認済

鶴舞駅

現金出納社員



14

10/7 12/6 市議会
報告
10月 9日
山田 9日
報告 9日

0001-5492

2025年10月 7日火曜日

日進市議会

領 収 証

政策研究「未来ネット」様

¥ 2,990 -

(消費税 ¥ 271)

但し、
日進市民会館
TEL:(0561)72-0955
日進アシスト株式会社
TEL:(052)800-0071

日進市折戸町笠寺山62番地3

日進市浅田平子二丁目245番地
登録番号 T3180001067497

担当者

領収証No 0281

大会議室 ¥2,490
ポスターIMCセット ¥400
追加マイク ¥100
小 計 ¥2,990
10%対象 ¥2,990
10%税 ¥271
合 計 ¥2,990
(うち消費税 ¥271)
お預り ¥3,000
お釣り ¥10

登録番号 T3-1800-0106-7497

1頁

5492 11時55分

15

収入印紙

領収証発行日:2025/10/14

1 / 2

株式会社JTB 宇都宮支店
〒320-0801
栃木県宇都宮市池上町4-1 東栄ビル4階
担当者:支店長

領収証番号:3253
登録番号:T8010701012863

領 収 証

日進市議会議員 白井えり子 様

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計 ¥10,200 (税込)

イベント名 第87回全国都市問題会議

イベント会期 2025/10/09 ~ 2025/10/10

請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	¥10,200	¥927 -
(10%対象)	¥10,200	¥927 -
(8%対象)	¥0	¥0 ※1
(対象外)	¥0	¥0 ※2

入金額 ¥10,200

請求残額 ¥0

株式会社JTB 宇都宮支店
〒320-0801
栃木県宇都宮市池上町4-1 東栄ビル4階
担当者:支店長 [REDACTED]

請求書番号:225391441000345011
登録番号:T8010701012863

請求書

000395 日進市議会議員 白井えり子様

下記のとおり請求申し上げます。

請求額合計 ￥23,200 (税込)

イベント名	第87回全国都市問題会議
-------	--------------

イベント会期	2025/10/09 ~ 2025/10/10
--------	-------------------------

請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	￥23,200	￥927 -
(10%対象)	￥10,200	￥927 -
(8%対象)	￥0	￥0 ※1
(対象外)	￥13,000	￥0 ※2

入金額	￥0
-----	----

請求残額	￥23,200
------	---------

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

請求書備考

お名前の前にお客様番号(お問い合わせ番号)をご入力ください。

お支払期限 2025/09/17

口座情報	
銀行名	みずほ銀行
支店名	十四号支店
口座種別	普通
口座番号	[REDACTED]
口座名義	株式会社JTB

明細は次頁以降をご参照ください。

請求明細

請求書発行日: 2025/08/30

2 / 2

請求額合計 ￥23,200 (税込)

【内訳】

イベント名		第87回全国都市問題会議			
イベント会期		2025/10/09 ~ 2025/10/10			
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税
2025/08/05	2025/10/09 会議参加登録 白井 えり子 様	¥13,000	1	¥13,000	※2
2025/08/20	2025/10/10 12:10~ 【Aコース】「交通システム」視 察コース 白井 えり子 様	¥10,200	1	¥10,200	10%
① 請求額合計				¥23,200	¥927
(10%対象)				¥10,200	¥927
(8%対象 ※1)				¥0	¥0
(対象外 ※2)				¥13,000	¥0
② 入金額				¥0	
③ 請求残額				¥23,200	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

参加費 ¥13,000については
領収書紛失のため充当していま
せん。

へきしんキャッシュサービスご利用明細

ご利用ありがとうございます。

ご利用年月日	取扱金庫	店番	取扱番号
07 ^年 09 ^月 06 ^日			15600181-0057
金融機関	取引店	口座番号	
	1560-01		
お取扱金種	お引出	お取引金額	
お内 手 引 金 (税込)	¥330	通帳員	
お利 息 率	12.05	¥23,200*	
説明コード	お取引後の残高		

みずほ銀行
十四号支店
普通 0000
か) JTB様

ご依頼人
シライ エリコ様

碧海信用金庫

16

No. 37

領 収 書

愛知県 日進市議会議員 2025年10月22日

白井 えり子 様

¥10,000. —

第30回清溪セミナー宿泊代として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員会
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘
日本青年館内
TEL 03-6452-9015

17

No. 37

領 収 書

愛知県 日進市議会議員 2025年10月22日

白井 えり子 様

¥29,000. —

第30回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員会
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘
日本青年館内
TEL 03-6452-9015

18

領 収 証

日進市議会議員
白井 えり子 様 No. _____

但 実務報告書(介護サービス) 4 500

入金日 7 年 10 月 28 日 上記正に領収いたしました

〒160-0022 新宿区新宿2-9-1 第31号庭M-802号
NPO 法人
高齢社会をよくする女性の会
TEL 03 (3356) 3 5 6 4
FAX 03 (3356) 6 4 2 7

収 入	内訳
印 紙	税抜金額
	消費税額等 (%)

19

12/6 (22)
市民会館
790V499-
白井 343
山田 343
新井 344

0001-7657

2025年12月 6日土曜日

日進市議会

領 収 証

政策研究G「未来ネット」

様

¥1,030-

(消費税 ¥93)

但し、
日進市民会館
TEL:(0561)72-0955
日進アシスト株式会社
TEL:(052)800-0071

日進市折戸町笠寺山62番地3

担当者

日進市浅田平子二丁目245番地
登録番号 T3180001067497

領収証No 0501

20

領 収 証

白 井 え り 子 様

No. _____

金 額

¥2000

収 入

印 紙

内 訳

現 金

小切手

手 形

消費税額等 (%)

但 第50回地方×国政策研究会 参加費として
2026.1.29開催

2026年 1 月 6 日 上記正に領収いたしました

〒700-0971岡山市北区野田5丁目8-11

かつらぎ野田ビル2F

TEL 086-244-7723・FAX 086-244-7724

自治体議員政策情報センター虹とみどり

係印

コクヨ ウケ-690

21

12/20 市民会
白井
997
山田 3997
角井 996

0001-8784

2026年 1月10日土曜日

日進市議会

領 収 証

政策研究G「未来ネット」

様

¥2,990-

(消費税 ¥271)

但し、
日進市民会館
TEL:(0561)72-0955
日進アシスト株式会社
TEL:(052)800-0071

日進市折戸町笠寺山62番地3

担当者

日進市浅田平子二丁目245番地
登録番号 T3180001067497

領収証No 0572

22

23

領収書No 48
530522 1

領収書
日進市議会議員
白井えり子様

金額
¥16,300円
[消費税等込み・10%]
但し、乗車券類(クレジット扱い)として

2026年1月20日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鶴舞駅

(変更済)

No. 7

領 収 書

愛知県

2026年1月26日

日進市議会議員 白井えり子様

¥3,650. —

1月26日～27日行政現地視察費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘

日本青年館内

TEL 03-6452-9012



24

No. 8

領 収 書

愛知県

2026年1月26日

日進市議会議員 白井えり子様

¥13, 200. —

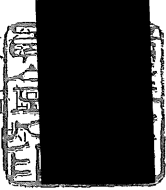
1月26日～27日 行政現地視察 木更津ワシントンホテル宿泊費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘

日本青年館

TEL 03-6452-9012



25

領 収 証

日進市議会議員 白井えり子 様

No. _____

★

¥ 3,000

内 訳

現 金

小切手

手 形

消費税(10%)

消費税(8%)

内税額計

但

令和8年度予算学習会参加費として

2026年2月6日 上記正に領収いたしました

登録番号

収入印紙

女性を議会に!ネットワーク

代表 山盛 さちえ

〒470-1168 豊明市

26

470-0117
愛知県日進市藤塚六丁目25
日進市議会議員 白井えり子 様

日進市議会議員 白井えり子 様

発行日: 2026年03月17日

領 収 書

下記の金額を確かにいただきました

(取扱先)
日本共産党尾張東部
地区委員会
瀬戸市八幡町381
tel 0561-82-9881

領収総額 11,880 円

8%対象 11,880円(税込) 消費税 880円

10%対象 0円(税込) 消費税 0円

日本共産党中央委員会 登録番号 T2700150120822

(明細)

品名	年月	数量	単価(税込)	金額(税込)	税率	備考
しんぶん赤旗日曜版	2025年 4月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2025年 5月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2025年 6月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2025年 7月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2025年 8月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2025年 9月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2025年10月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2025年11月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2025年12月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2026年 1月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2026年 2月	1	990	990	8%	
しんぶん赤旗日曜版	2026年 3月	1	990	990	8%	
			計	11,880		